

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	黒石市			代表者名	高樋 憲
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画財政部広報情報システム課	連絡先電話番号	0172-52-2111
担当者役職	主事	担当者氏名	三浦 航太	連絡先E-mail	
住所	036-0396 青森県黒石市大字市ノ町11-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	「DX推進員」の配置
概要	DX推進の担い手を育成するにあたり、DX推進の考え方や方向性について助言をいただきながら、意見交換の場を設けたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	837	令和8年3月5日	支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年2月17日	支援・助言(実地)	10時00分	16時00分	60
				活動時間（分）	300
2-2. 派遣場所	会場名	黒石市役所わのまちセンター1階 イベントホール	最寄駅	黒石駅	
	所在地	青森県黒石市大字市ノ町2-1	最寄駅からの交通手段	タクシー	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大木 一浩
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	数ある手法の中から、当市の現状に合った分析手法の紹介をいただいた。各グループの発表に対し、良かった点や悪かった点を明確に指導いただいた。
アドバイザーへの要望事項	グループによっては課題の設定（課題の規模感）の範囲が広すぎるものもあった。黒石市の現状としては、適切な課題設定力にも難があると感じられたため、今後ともフォローいただきながら、まずは小さな業務改善の実現に向けて御指導いただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	26人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	26	0	0	
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DXを推進していくための業務改善において、どのように進めていけば良いのかわからない。第二回のワークショップにおいて、課題や問題点を挙げたものの、具体的にどのように改善していくか、その手法が不明であった。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職員自らが、自身の業務を分析し、業務改善を実施していくという気付き・意識を持つ。全庁的な課題を洗い出し、どのように分析して実行していくか、その手法を会得する。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	特性要因図を用いた課題の原因分析方法について指導いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	課題の原因分析方法について学び、どの業務工程が課題の根本原因になっているか明確になった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない グループワークを通じ、様々な意見が出ることで、個人では気づけなかった組織風土的な課題と、その原因が表面化された。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	課題の根本原因に対する解決策の立案とロードマップの作成、それに伴う障壁とその対策については次回持ち越しとなった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートの必要性がないため、実施していない。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 問題点・課題に対するアウトプット・アウトカムの検討及び整理、DX整備目標のブラッシュアップ(推進計画の整理)、推進体制の再構築等
4-4. 事業の最終的な目指す姿	様々なデジタル技術を活用して業務効率化・業務改善(改革)を行えるような職員の育成を目指す。また、職員個人が業務改善手法を取り入れながら業務を遂行し、所属係、所属課へその手法が波及していくことを目指す。これらによる業務効率化・業務改善により、効率的で持続可能な行政サービスを市民に提供し、市民満足度を向上させるとともに住民の幸福につなげる。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

